

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	北海道テレコム懇談会			代表者名	山本 強
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	事務局	連絡先電話番号	-
担当者役職	事務局長	担当者氏名	酒井 裕司	連絡先E-mail	
住所	060-0061 北海道札幌市中央区南1条西2丁目18 IKEUCHI GATE 4F IKEUCHI Lab				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	北海道総合通信局	連絡先部署	情報通信部情報通信振興課		
担当者氏名	奥野 典子	連絡先電話番号	011-709-2311	連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	普及啓発事業		
概要	10/1開催予定のセミナーにおける講演及びslidoを活用したクロストークセッションにてファシリテーターを依頼したい。またセミナー前にクロストークセッションに参加するメンバーと議論に係る方向性等の事前打合せを開催する予定であるため、その場においてもアドバイスをいただきたい。				
支援を求める分野	オープンデータ EBPM				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月1日	講演(実地)	13時00分	16時00分	
				活動時間（分）	180
2-2.	会場名	札幌コンベンションセンター		最寄駅	東札幌(地下鉄)
派遣場所	所在地	札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「自治体データ活用術」と題し、行政分野でのデータ活用が進んでおり、正確な現状把握に使われていること、データライフサイクル（データ生成から、蓄積、利活用、補完、廃棄までのデータ活用における一連の流れ）においてデータが価値を生むのは利活用の時のみで、その他の工程は全てコストとなる指摘など、自治体データ活用に向けた講演をいただきました。さらに、続く、クロストークセッションでは、slidoを活用し、リアルタイムで聴講者が聴きたい内容を選ぶなど、ライブ感により一方通行的内容にならないよう主体的な聴講を促進いただきました。特に、今回は、スピーカのみならず、slidoコメントーターという例のないスタイルの登壇者を設定しましたが、セッション全体を円滑に運営いただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にございません

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	301人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	163		128	10
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）				
	①道内自治体では、データ活用が進んでいるとはいえない状況であり、その意識も低調であること。 ②セミナーのトークセッションは複数人の登壇者からの一方通行的なトークになりがちなこと。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	①自治体におけるデータ活用の機運醸成 ②積極的な聴講				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	①講演においては、「自治体データ活用術」と題し、データに基づいた意思決定効率化・生産性向上を促進する“データドリブン”な組織に変革が可能であることや、行政データ・公的統計データのBIツール活用による分析・可視化が神戸市を例に行政組織でも進んでいることを紹介いただき、正確な現状把握と目指すべき場所を設定するためのデータ活用が重要であること、データライフサイクル(データ生成から、蓄積、利活用、補完、廃棄までのデータ活用における一連の流れ)においてデータが価値を生むのは利活用の時のみで、その他の工程は全てコストとなること、さらにEBPMに基づく政策立案のためには、まずデータを使った現状把握(ファクト)からスタートすべきなど、自治体データ利活用に向けた内容をお話しいただきました。 ②クロストークセッションでは、slidoを活用し、リアルタイムで聴講者が聴きたい内容を選ぶなど、ライブ感により一方通行的内容にならないよう主体的な聴講を促進いただきました。また、slidoコメントーターという例のないスタイルの登壇者を含めて、セッションの円滑に運営いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	データ利活用による正確な現状把握による行政が自治体DXを推進し、ひいては地域社会DXも推進することについての理解促進。セミナーのクロストークセッションの円滑な実施。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 講演、slidoを積極的に活用したクロストークセッションを通じて主体的な聴講が実現し、講演、クロストークセッションを通じて、データの利活用や自治体において推進するDXが住民のためのものであること、地域課題解決に資するものであることについて理解を得られた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 地域情報化による住民幸福度向上につながる企画を計画する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今後、本セミナーで得た知識、情報を通じて、データ活用の有用性により地元の強みに気づき、幸福度を高める行政への変革、地域づくりにより住民幸福度の向上につながることを、最終目標である。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

